

令和8年度「#あおばな in 青森高校」(特別講演会)開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和8年5月20日（水）10：45～12：15

○場所：青森県立青森高等学校 体育館

○参加生徒：約480名

<知事講演>

「青森新時代への挑戦～挑戦を支え、挑戦する県庁～」のテーマのもと、青森県の現状やそれに対する県の使命や主な取組について講演しました。

<生徒との対話>

知事講演終了後、知事と生徒の皆さんが質疑応答の形式で対話しました。

主な内容は以下のとおりです。

	生徒からの質問	知事の回答
①	青森県の新しい農業政策	作業を省力化しながら生産性を上げることができるスマート農業を推進することで、担い手が減っても、生産量を確保し、所得を生み出していく仕組みをつくりたい。
②	生産年齢人口の増加に向けた取組	皆さんが県内で挑戦できるようなフィールドをつくっていくことが大事。その1つとして、エネルギーや農業、スタートアップ、観光などの成長分野で活躍できる環境を整えていく。
③	フュージョンエネルギー拠点形成における青森県の強み	まず第一に、プラントなどを作る広大な土地がある。量子科学技術研究開発機構（QST）という、フュージョンエネルギー計画の根幹となる分野を支えている研究所があり、これまでの研究の積み上げがある。
④	自然環境の保全とまちづくりとの調和	青森県が一番大事にしないといけないのは自然環境。風力・太陽光発電施設などの拡大が、自然環境に悪影響を及ぼさないよう、昨年度に条例を制定し、自然と再生可能エネルギーとの共生を図ることとした。
⑤	AI時代における学校教育のあり方	どんなにAIで勉強ができるとしても、皆さんに寄り添い、学習や学校生活を支え、将来の夢を後押ししてくれるのは先生なので、この仕事は絶対になくならないし、大変貴重な仕事。

